

福島市教育委員会定例会会議録	
1 場 所	福島市役所 9階 903会議室
2 日 時	令和6年4月3日 午前9時00分
3 出席者	教育長 佐藤秀美 教育長職務代理者 渡辺慎太郎 委員 篠木雄司 委員 高谷理恵子 委員 立花由里子
4 欠席した委員	
5 説明のため出席した職員	教育部長 三浦裕治 教育部次長兼教育総務課長 長南敏広 学校教育課長 穂積 浩 教育施設管理課長 八島亨主 教育研修課長 佐藤厚生 生涯学習課長 遠藤 彰 中央学習センター館長 加藤享司 図書館長 安藤勝章 教育総務課課長補佐兼庶務係長 森山 淳
6 議事内容及び経過	(1) 開 会 午前9時00分 (2) 日 程 本日1日間 (3) 署名人の決定 委員 篠木委員 委員 立花委員 (4) 記録係 教育総務課庶務係主査 藤川哲生

1 議事
会議冒頭、その他 本市におけるいじめ重大事態等の現状については、個人情報等を含むことから関係職員だけで行い非公開とすることについて確認、全員の承認を得る。
議案第17号 福島市学習センター運営審議会委員の委嘱について
生涯学習課長 (教育委員会定例会提出事項 P3により説明)
教育長 異議ないため本議案を原案のとおり承認する。
議案第18号 教育財産の廃止について
教育施設管理課長 (教育委員会定例会提出事項 P5により説明)
教育長 異議ないため本議案を原案のとおり承認する。
2 教育長報告事項
①令和6年3月市議会定例会議における質問及び答弁趣旨について
教育部長 (教育委員会定例会提出事項 別冊①により説明)
渡辺委員 何点か働き方改革の質問と答弁があったが、1番分かりやすいのはP15の鈴木正実議員からの質問に対する答弁で、労働時間把握の方法について従前のパソコン立ち上げの打刻による管理から、校務支援システムによる管理と並行して正確に把握するよう努めたという答弁があるが、もう少し具体的に伺いたい。以前は、パソコンを立ち上げた時間が勤務開始、シャットダウンした時間が勤務終了だったということ。それが校務支援システムによる管理

	になると、具体的に何を開始時刻・終了時刻として拾うのかと、
	なぜそれが今までよりも正確なのかというところを理解しておき
	たいので説明いただきたい。
学校教育課長	以前は、パソコンの電源を入れると出勤ということで、パソコン
	の電源を入れなければ出勤したことにならないことになっていた。
	帰る際にはアイコンをクリックしてその時間が記録されるため、
	それをクリックして帰らなければ、正規の就業時間で計算されて
	しまい正確性に欠けているところがあった。
	今回、校務支援システムの機能を生かして、パソコンを立ち上げ
	て自分で出勤した際の出勤の時間をクリックして入れ、帰る際に
	も退勤時間をクリックして帰ることになるため、以前に比べれば
	正確な時間が出ると考えている。
渡辺委員	タイムカードをパソコン上でやるようなイメージとして、趣旨は
	よく理解した。
	それともう1点。それを前提に、1ヶ月の超過勤務時間の平均が
	45時間を超えた教職員の割合について答弁されているが、超過
	勤務時間は、例えば部活動の土日の指導についても、校務支援シ
	ステムで拾えるものなのか
学校教育課長	これまでは、土日は部活の指導に来ているので、パソコンを立ち
	上げるということはなく、帰りの時刻も分からなかったというと
	ころもあった。今回のシステムについては、その日に出勤退勤の
	時間を入れられなくても、後日しっかりと土曜日、日曜日の出勤
	退勤時間を打ち込むことができるため、以前のシステムに比べれ

	ば正確な時間が出ると考えている。
渡辺委員	あえて言えば、あとは本人が本当に正確に入れていただけるかどうかという問題は残るということか。
学校教育課長	おっしゃるとおりである。
篠木委員	P15の1-(1)の②の中で、オンライン授業によって標準時数の上限の話があるが、どの程度削減に繋がっているのか。実感としては、案外ずっと楽になっていく方向性なのか。
学校教育課長	これまで学校では私も現場にいた際はそうであったが、冬期間が感染症の流行による学級閉鎖や休校となった時のため、また、台風などで休校になるということもありえるため、その分をもし休みになっても標準時数を確保できるようにプラスして時数を確保していたということがある。
	学校によって異なるが、20時間ほど確保していたとすると、1年間35週と考えれば、約週1時間くらいずつ少なくなっていくことになる。学校の現場の教員は、標準時数をしっかり守らなくてはならないという考えで授業を行っているが、その余分な時間を取っていた。
	今回、1人1台子どもたちにタブレットが配付されたため、休校の際にしっかり学習の機会を確保して、学習内容を完全に履修することができるため、今回時数は標準時数とする。休校等の場合には、オンライン授業を使って学習内容を進めるということで考えている。

②令和6年3月市議会定例会議 教育委員会所管分の議案審議結果等について
・ 令和6年度福島市一般会計予算
・ 令和5年度福島市一般会計補正予算
教育部次長（教育委員会定例会提出事項 別冊②、P7により説明）
・ 福島市立学校条例の一部を改正する条例制定の件
学校教育課長（教育委員会定例会提出事項 P8により説明）
・ 事業契約の件
教育施設管理課長（教育委員会定例会提出事項 P9により説明）
・ 福島市学習センターの会場申込方法等の変更（案）に関する陳情について
生涯学習課長（教育委員会定例会提出事項 P10により説明）
③福島市青少年指導員の委嘱について
生涯学習課長（教育委員会定例会提出事項 P12により説明）
3 その他
・ 今後の日程について
教育総務課長（教育委員会定例会提出事項 P13により説明）
①次回の定例会の開催について
令和6年5月1日（水）午前9時00分から市役所9階903会議室
終了後に協議会を開催。

②今後の主な行事予定について
教育長・教育委員の出席が予定されている事業を周知。
③今後の教育委員会の開催について
6月定例会は5月29日（水）午前9時00分から市役所9階903会議室で 開催予定。
午前9時35分休議。
午前10時16分再開。以下、非公開。
4 その他（非公開）
・本市におけるいじめ重大事態等の現状について
学校教育課長（別冊資料により説明）
質疑及び協議
以上終了 午前11時57分
記 録 藤川 哲生
委 員
委 員